



# いぶすき 市議会だより

臨時号

いぶすき市議会だより第47号に掲載できなかった第2回臨時会（4月27日～5月9日）・第3回臨時会（7月11日～25日）の本会議の主な審議内容について掲載します。

## 第2回臨時会

第2回臨時会では、条例の専決処分の承認を求める案件2件、人事に関する案件1件、補正予算に関する案件2件の計5件が審議されました。

### 副市長選任に同意

■議案第62号 副市長の選任について  
【氏名】佐藤 寛 氏（60歳）  
【略歴】昭和56年 福岡通商産業局（現・九州経済産業局）入局  
平成26年4月 指宿市副市長

3月議会で副市長2人が不同意となり、今回1人を選任するに至った経緯等の質疑があり、同氏の本市副市長としての実績や業務分担の答弁あり。

同意に異議があり、起立採決の結果、起立多数で同意

### 国保税等の課税限度額引き上げ等の市条例の一部改正の専決処分を承認

■議案第61号 指宿市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて  
【課税限度額の引き上げ】  
国保税 52万円 → 54万円  
後期高齢者支援金等 17万円 → 19万円  
【国保税軽減判定所得の引き上げ】  
5割軽減 26万円 → 26万5千円  
2割軽減 47万円 → 48万円

反対討論があり、起立採決の結果、起立多数で承認

### 法改正に伴う市税条例等の一部改正の専決処分を承認

■議案第60号 指宿市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて  
【概要】独立行政法人労働者健康安全機構の一定業務に供する固定資産に対する非課税措置や地域決定型地方税制特例措置（わがまち特例制度）の対象項目追加、紙巻たばこ3級品の税率特例措置の段階的な撤廃等による、本市関係条例等の改正。

質疑・討論はなく、全員一致をもって承認

■議案第63号 指宿市一般会計補正予算（第2号）について

○サッカー場・多目的グラウンド整備に関する検討委員会の設置に伴う先進地視察旅費や委員会からの提言に基づくパース図作成委託料等72万2千円の増額補正。

問 3月定例会で設計業務委託料が減額修正され、待ったがかかった状態になった。今回の検討委員会設置との関係はどのようになるのか。

答 修正議案の提案理由の中でも建設検討委員会なるものを設け、十分な説明と議論を重ねた上で事業に取り組んでほしいとの指摘があった。ただ、いまだに要望書やこれまでの一般質問等での議論を踏まえ、市内の各団体や一般市民のさまざまな視点からの意見をいただくための検討委員会を設置するものである。

問 検討委員会には、どういったものを造るのかという検討、ゴーもストップもあるというのを含めての検討を委ねるのか。

答 検討委員会の中で、造る、造らないという判断はしない。市のサッカー場を造るなら、こういうものが理想

的であるという、そういう提言をいただく場である。

問 用地の確保状況は。

答 買収は6割弱が済んでいて、全体計画面積からいうと85%程度である。

討論 検討委員会は、サッカー場を造るための検討であるが、場合によってはストップもあり得ることを含めた検討委員会であるべきだ。国体やオリンピックに間に合わないという事態でも進めるのかなど、まだいろいろの問題を含んでいる。ゴーありきを前提とする本議案には反対する。

起立採決の結果、起立多数で原案可決

■議案第64号 指宿市一般会計補正予算（第3号）について

○熊本地震により影響を受けた市内ホテル・旅館に対する支援に伴う2500万円の増額補正（詳細については、第47号13ページ参照）。

委員長報告に対する質疑・討論はなく、全員一致をもって原案可決

第3回臨時会では、補正予算の専決処分承認を求める案件1件、条例に関する案件1件、補正予算に関する案件2件の計4件の議案と、陳情3件が審議されました。

## 「地熱の恵み活用プロジェクト」調査井戸掘削決定!!

### 予算額 4億6,881万3千円

※表決結果は「市議会だより第47号」  
20ページに掲載しています。

#### ■議案第77号 指宿市一般会計補正予算（第8号）について

##### 【歳出補正の主な内容】

- 調査井戸による噴出試験やモニタリング等に係る委託料・・・ 1億2,366万円
- 調査井戸に係る掘削等の工事請負費・・・ 3億4,515万3千円

##### 【財源の内訳】

- 地熱資源開発調査事業費助成金（国の補助金）・・・ 4億6,881万3千円

##### 【プロジェクトの概要】

- 市の温泉資源を守りつつも温泉資源を活用した発電事業に市も関与し、インバウンド対策等を視野に入れた観光施設の充実や温泉熱を利用したドライフルーツなどの6次産業の可能性を探り、産業・福祉の振興や新たな雇用創出を目指す。

#### ポイント

- ・当初は3本の調査井戸掘削を行う予定でしたが、既存泉源への影響が不確定であること等を理由に実施が見送られていました。（詳細は「市議会だより第46号」4ページに掲載）
- ・今回は1本の調査井戸掘削に係る補正予算です。

反対討論があり、起立採決の結果、起立多数で原案可決

#### 反対討論

- 3月議会以降に懸念される不安がどれだけ軽減したのか。住民や関係者の理解がどれほど進んだのか。幾ら財源的に有利で、自己財源が少なく済むとしても、環境や既存泉源への影響があったり、住民の理解と合意が不十分であるとすれば、ゴーサインを出したらいけないと考える。
- 深さの違いや、不透水層があるということなどから、既存泉源との関係性は低く、影響は出にくいとする説明がなされてきたが、過去の全国の事例等を見ると、無視できないケースもある。本市においても、地熱発電における泉源掘削時に、地元温泉事業者の泉源が枯渇したという事実がある。温泉を守る立場の行政としては、影響が考えにくいとするよりも、むしろ、影響があるとする立場に立つべきではないか。
- 地熱発電との直接的な因果関係を証明できずに、補償もされず、泣き寝入りを余儀なくされているケースが多いのではないかと。そもそも因果関係を証明できるのか。
- 市民の共有資源である温泉資源を乱開発から未然に防ごうとする条例を制定した市が自ら発電事業に参入するということは、今後の地熱発電、地熱開発事業者の参入を、促進することになりかねないのではないかと。
- 還元せずに地下からの熱水をくみ上げ続けた場合、地下資源を枯渇させてしまうのみならず、地表部の噴気現象や地盤沈下などを招くことが考えられるほか、排水が周辺の環境へ及ぼす影響が想定される。
- これまで12回の住民説明会等を開催し、十分な説明を行ったとしているが、市民の中にはいまだに多くの疑問がある。
- 各担当課も含めた開発チームで、調査研究を進めるべきである。現在は市長公室の数名の担当者のみで進めているようである。
- 九州で指折りの温泉施設、ヘルシーランドの中での調査井戸掘削は、全国でも例を見ない初めてのケースである。既存泉源に限りなく影響のない、安全性の高い場所を再度検討すべきではないか。ヘルシーランドと日本一のたまたま箱温泉、山川砂むし温泉に年間約27万人来ていただいている。現在の既存の施設に30万人来ていただくように、温泉施設に磨きをかける施策の方が、确实であり、安心・安全であると考えられる。

#### 賛成討論

- 人口減少に加え、交付税も減額になると思われることから、魅力ある事業には投資をするべきではないか。地熱の恵みを市民が広く享受できる体制をいち早く構築し、多くの若者の雇用や地熱資源を活用した新たな付加価値を創造することで、地域の活力を育むことにより、人口減少の抑制と地域活性化につながるかと考える。
- 国のエネルギー事情を勘案したとき、地熱資源を持つべき自治体として、資源を守りながら、持続可能な活用を図っていくことが肝要である。
- 現存する施設の活性化を願いながら、着手ありきでなく、もっと議論すべきであるという個人の陳情書と、プロジェクト推進を願う陳情書が山川地域より2件、要望書として、指宿市3経済団体等から提出されている。また、調査井戸の掘削と工事請負の主体的な企業は、九州で6カ所の地熱発電所を運営する九州電力であり、掘削調査技術能力、発電所管理実績、資本力、情報公開など、信用力のあることから、万が一、不測の事態への対処能力を高く評価することから、本議案に賛成する。

## 「砂楽」受付従業員業務上横領事件

### 引責として市長の給料月額を3ヵ月減額

■議案第76号 指宿市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について

【概要】 職員の懲戒処分等に伴い、引責として市長の給料月額を減額するための条例の一部改正

#### 【改正の主な内容】

市長の給料月額を平成28年8月1日から平成28年9月30日までの2ヵ月間10%減額する。  
(月額：81万2千円→73万800円)

#### 【修正案の内容】

市長の給料月額を平成28年8月1日から平成28年10月31日までの3ヵ月間10%減額する。  
(月額：81万2千円→73万800円)

※総務水道委員会では委員から市長の給料を減額する期間2ヵ月を3ヵ月に延長しようとする修正案が提出されました。

起立採決の結果、起立多数で修正可決

## 大雨の被害に対する災害復旧費

■議案第75号 指宿市一般会計補正予算(第7号)の専決処分の承認を求めることについて

#### 【歳出補正の主な内容】

- 農林水産施設災害復旧費 752万4千円  
・農道2カ所、水路13カ所、林道2カ所
- 土木施設災害復旧費 1,540万円  
・市道6カ所、河川3カ所、水路1カ所

質疑・討論はなく、全員一致をもって承認

■議案第78号 指宿市一般会計補正予算(第9号)について

#### 【歳出補正の主な内容】

- 農林水産施設災害復旧費 1,270万9千円  
・農道12カ所、水路5カ所、林道9カ所他
- 土木施設災害復旧費 1億2,746万9千円  
・市道15カ所、里道2カ所、河川1カ所他

質疑・討論はなく、全員一致をもって原案可決

### 陳情第6号

#### 「地熱の恵み活用プロジェクト」の推進に関する陳情書

#### 採択すべきという意見

① 陳情者から参考人として、十分な説明を聴いた中で、市政発展の強い思いを感じた。そこを考えると市政発展のために、地域の方の考えが出ていくと思うので、ぜひ本陳情は採択すべきと思う。

② この陳情は予算と同じように非常に迷う点もある。また、参考人の意見を聴取してもいろいろあったが、あくまでも可否を判断するのは陳情文書の文言である。実施する際は議会もチェック機能を果たさなければならず、非常に責任重大であるが、この陳情については、採択すべきと思う。

#### 不採択とすべきという意見

● 地熱発電の開発に対して、現に市民の間でも心配や懸念をしている人がいる中で、これがまだ払拭・解決されていないもので、この陳情はストレートに推進を求めるものがある。懸念する声に一切耳を傾けていないという点では、十分な検討の上に進めてくれ

なら、まだ検討の余地はあるが、反対や懸念する人もいないという前提に立った推進陳情なので不採択と考えている。

起立採決の結果、起立多数で採択

### 陳情第7号

#### 地熱の恵み活用プロジェクトの推進に関する陳情書

#### 採択すべきという意見

● 陳情第6号と同じくこの陳情は採択すべきと思う。地域のこと、市政発展のことなど、いろんなことを一生懸命真剣に考えた上での陳情だと思ふ。陳情者から参考人として、十分な説明を聴いた中で、市政発展の強い思いを感じた。そこを考えると市政発展のために、地域の考えが出ていると思うので、ぜひ本陳情は採択すべきと思う。

#### 不採択とすべきという意見

● 陳情第6号で述べたのと同じ趣旨で、いろんな環境への影響等を懸念する声、あるいは反対の声等に一切耳を傾けず、ストレートに推進ある

のみという立場での陳情であるので、不採択にすべきと思ふ。

起立採決の結果、起立多数で採択

### 陳情第8号

#### 「地熱の恵み活用」に関する陳情書

#### 採択すべきという意見

① 陳情者は、ヘルシーランドの開発やプロジェクトにも関わったということで、非常に勉強されており、参考人として説明を聴いて、なるほどと思つた。陳情の趣旨は100%、とにかくもろ手を挙げて開発に賛成というわけではなく、いろんな疑問点について真摯に伝えるべきだと陳情者も述べているので、この陳情は採択すべきと思う。

② 開発の中身について、いろんなことが心配されるということや現況等についても述べられているが、これは当然採択すべきと思う。

全員一致をもって採択

# 平成28年第3回臨時会 表決結果（陳情分）

※全員一致は\*，賛成は○，反対は◆で表示してあります。

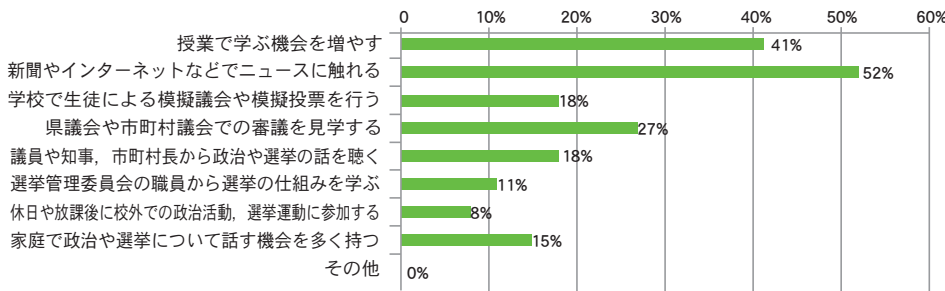
松下議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については本会議での表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

陳情番号	件名	氏名																議決結果				
		外園 幸吉	白山 正志	恒吉 太吾	井元 伸明	吉村 重則	西森 三義	浜田 藤幸	東 伸行	高田チヨ子	森 時徳	高橋 三樹	福永 徳郎	前原 六則	前之園正和	木原 繁昭	中村 洋幸		新川床金春	下川床 泉	新宮領 進	松下喜久雄
6	「地熱の恵み活用プロジェクト推進」に関する陳情書	○	◆	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆	◆	◆	○	—	採 択
7	地熱の恵み活用プロジェクトの推進に関する陳情書	○	◆	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆	◆	◆	○	—	採 択
8	「地熱の恵み活用」に関する陳情書	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	採 択

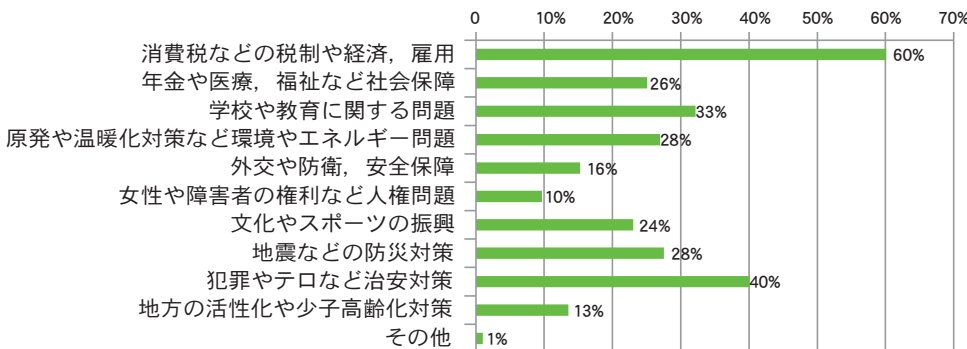
## お詫びと訂正

8月15日発行の議会だより第47号19ページのグラフの項目に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

Q 政治や選挙に高校生が関心を持つためにはどうしたらいいでしょうか。  
(複数回答)



Q あなたが関心を持っている社会問題は何ですか。  
(複数回答)



## 編集後記

前回発行の議会だより第47号では、第2回定例会における主な審議内容や一般質問のほか、3常任委員会およびICT推進に関する特別委員会の所管事務調査の報告を掲載しました。このほか、公職選挙法の改正に伴い、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたもとで行われた7月の参議院議員通常選挙、鹿児島県知事選挙に合わせて実施した、市内高校3年生へのアンケート特集も掲載しました。このようにことから、第3回臨時会において審議した陳情書の審議内容や表決結果等を掲載することができませんでした。次号掲載の検討もいたしましたが、タイムリーさが失われるとの指摘もあり、今回、臨時号を発行させていただきます。

今後とも皆様に分かりやすく、親しんで読んでいただけるような議会だよりの発行を心掛けてまいります。

広報委員長 木原 繁昭